Course number		U-LAS05 10006 LJ23										
Course title (and course ể title in P English)			name and d	Instructor's name, job title, and department of affiliation								
Group Humanities and Social Sciences Field(Classification) Regions and Cultures(Foundations)											dations)	
Language of instruction	Japane	Japanese			Old group		Group A		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks	1		Class sty		cture ace-to-f	ace cou	ırse)	Yea	ar/semesters	2025 •	First semester	
Days and periods	Tue.2		Targe		t year	year All students		Elig	igible students F		For all majors	
[Overview and purpose of the course]												
2万年前の最終氷期(氷河時代)が我々の生活にどのように関わっているのか?、過去2千年間の 気候変動が世界の歴史とどのような関係にあるのか?、近年の温暖化は世界の氷河や植生分布をど のように変化させているのか?、環境変化は高山や砂漠などの厳しい自然や生態、住民生活や社会 にどのような影響をもたらすのか?、インドのヒマラヤ地域に住む人々はその厳しい自然の中でど のように暮らし、社会をつくっているのか?、海外調査はなぜおもしろく、人生を有意義にさせる のか?について考え、理解を深める。												
[Course objectives]												
・自然のおもしろさを理解する。 ・自然と社会・文化との関係を理解する。 ・世界の興味深い事象を理解する。 ・海外に出ることのおもしろさや重要さを理解する。												
[Course schedule and contents)]												
かして。 かして、 かして、 かして、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の	かるこ言に、しる後環が又たてつこのか高黒年平球かに境砂入こルアに氷?層や間安温?は変漠をにプル住ま。ほうのです。	期 ビ金の時暖 ア化に得「スナむ(ル山気代化 フは住るおを‐チ氷 が、候はが リ砂むの花縦チベ	河 多千変長高 カ漠砂か畑走ャッ時 く種動く山 の(漠?」しルト代 、のが続(高ナゾ がて・系) 渋駅世きケ 山ミウ あいプ住	が 谷が界、ニ かブは るるラ民現 、地のそア ら砂ど のとデの在 品下歴の山 氷漠う か突・生	の「川に史後」、「河」や「?然シ活我」、あ的はキーがのって「 ュや々 上る事短り 消植て お州社	の 野の象いマ え生生 花(会生 にはにのン 、やき 畑アは活 少などかジ 植動て 」ッど	環 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	形 な 関 ン 登生? ろラもや ぜ わ デ る活砂 理ヤの	動・植物分布 か?大阪駅が っているのか っていの氷っつの の の いの い の た の た に に く に に に の の た い る のか へ に い る のか の た い る のか のか の た い る のか のか のか の た い る のか のか のか のか のか のか のか のか のか のか のか のか のか	階段の ? 植 関は の 国の 国	9多いのはな どのように があるか? 食べ、どう 1境紛争地帯	
								Co	ontinue to 自约	然地理	学(2)	

自然地理学(2)

例:なぜ、コーヒーはエチオピアで飲むとおいしいのか?なぜ、ボツワナやナミビアでは道ばた にごろごろスイカが自然に生えているのか?

8.海外調査はなぜおもしろいのか? 南米・アジア・ヨーロッパ・ポリネシア編(ボリビア、ペルー、インド、タイ、ラオス、ドイツ、タヒチ、イースター島)

例:なぜ、ハワイ、マダガスカル、マオリ(ニュージーランド)、インドネシア、高砂(台湾)、 タヒチ、ラパヌイ(イースター島)は互いに何千キロも離れているのに似たような言葉を話すのか ?

[Course requirements]

特に地理学の知識は必要ない。高校で地理を受講していなくても問題はない。

[Evaluation methods and policy]

・平常点(出席状況・受講態度)、授業期間内での試験で総合的に評価するが(平常点30%、試験 70%)、とくに出席重視なので、3分の2以上出席する意思がない人はこの授業を取らないようして ください(単位は取れません)。

・毎回出席カードを配って、それに意見や感想、質問等を書いてもらう(内容で評価はしないが、 何も書いてなければカードを出しても出席扱いにはならない)。

・授業期間内での試験は、授業期間の終わり頃(7月)に行う。教育実習や祇園祭の山鉾引き従事 など何か特別な事情で試験の受けられない人は、事前に申し出れば別に考慮する。事後の申し出は、 急を要する特別な理由で証明書がないかぎり原則、受け付けない(毎年、親戚の不幸や法事等の理 由が異常に多いため)。

[Textbooks]

毎回プリントを配るので、それを以前配ったものも含めて毎回持ってくること。

[References, etc.]

(References, etc.)

水野一晴 『世界がわかる地理学入門』(ちくま新書)ISBN:978-4-480-07125-5 水野一晴 『気候変動で読む地球史 - 限界地帯の自然と植生から - 』(NHKブックス)ISBN:978-4-14-091240-9

[Study outside of class (preparation and review)]

授業中に指示する

[Other information (office hours, etc.)]

地図帳(高校や中学の時に使用した帝国書院や二宮書店などの発行のもの。持っていない人は本屋 で購入のこと)を受講の際に必ず携帯すること。

授業中のパソコンやスマホ、携帯電話の使用は禁止する(板書の撮影も禁止)。ノートを取る場合 は、ノートに鉛筆やペンで筆記し、パソコンでの入力は事前に特別な理由で許可されない限り認め ない。

[Essential courses]